

街じゅうの ガス・スタンドの大きなキャノピーを ガラスブロック・ルーフに。

街に光の屋根を散りばめる。
光の下での安らぎの給油と夜の街を彩る。



ほとくの街には、13のガス・スタンドがあります。
いつも立ち寄り、満たん出発します。

知らない街に出かけても、どこも同様な
ガス・スタンド。

“こんなところにも、あんなところにも”
いつもお世話になっています。
日本には5万軒程度あるそうです。

どのガス・スタンドも、大きな水平の
キャノピーを持っています。

キャノピーの下、暗いからいつも一日中、照
明つけてがんばっています。

機能性から生み出されたビルディングタイ
プ。良く出来ています。

みんなも、走り疲れたら立ち寄りと思
います。

大きなキャノピーが、ガラスブロックで
出来ていたら。

拡散した光のシャワー、光の塊の下で給
油をすれば、急いでいる人も一時の安らぎ
と落ち着きを得られそう。

“たまにはのんびり致しましょう”
照明代も安上がり。

“光に包まれてぼーとするのもいいな”

“歪んだ空を見上げるのもいいな”

“都市を透かし見るのもいいな”

夜は光の発光体として街を彩ります。

“夜のドライブも楽しくなるかしら”

屋根のある景観が少なくなりました。

こんな大きなキャノピー、ちょっと傾ける
だけで、目にすぐ飛び込んできます。

街の景観も変わるかも知れない。

低層がほとんどだから、高層街にあっても目
に近い。

こんな建築タイプめずらしいな。

どこにでも、あっちゃう。
街に光の屋根を散りばめる。

会社の人も、みんなのことに気を使っ
てくれたらいいな。

そんなちょっとした心遣いをみんなで持
てば、僕らの街も変わっていくかも知
れない。



GAS MAP: 局所的・離散的な変化が、街全体に波及する。



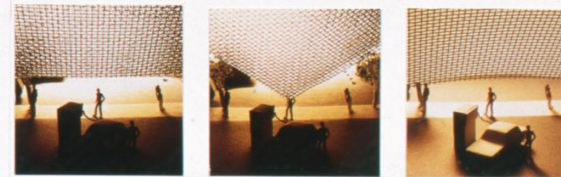
EASY CHANGING OF G・S BUILDING TYPE
WITH A CONSIDERATION FOR PUBLIC



“光に包まれ、SPEED感を忘れた”



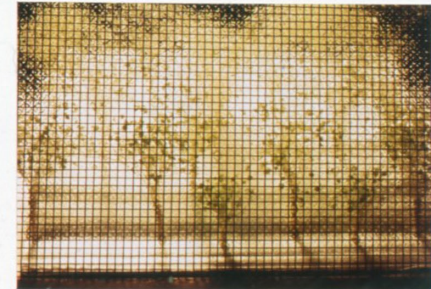
屋根を失った現代都市空間において、低層の屋根をもつG・S空間は貴重。



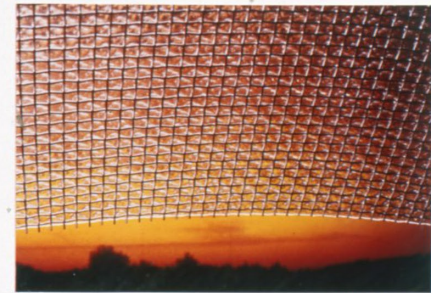
EXAMPLE OF THE G・S GLASS BLOCK ROOF



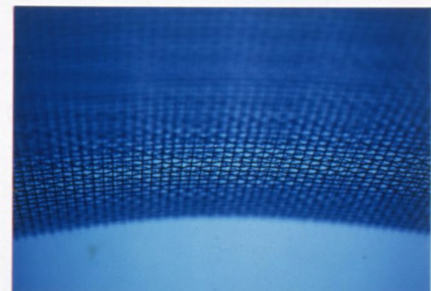
“お父さん達、
たまには”



“今日はずっと違う街に見える”



“今日は夕日がきれい”



“歪んだ青空を眺めるのもいいな”